



JSABs
Japan Society of Applied Business Studies

日本ビジネス実務学会

会報 No.61

2014年9月30日発行

発行/日本ビジネス実務学会広報委員会

事務局/〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15 自由が丘産能短期大学内 TEL/FAX03-6809-7131(直通)

URL: <http://www.b-jitsumu.com> / e-mail: business.jitumu@gmail.com

第33回全国大会統一テーマ 「ビジネス実務教育と就業力育成Ⅱ」

会長あいさつ

ビジネス実務教育と就業力育成



池内 健治 (自由が丘産能短期大学)

残念なお知らせがあります。昨年、福井有前会長が闘病の末、ご逝去なさいました。福井先生はプレゼンテーションや初年次教育などでビジネス実務研究の活性化に大きく貢献されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

さて、景気が復調して大学生・短期大学生の就職状況も好転してきたように感じます。外食や流通、建設など、各業界で人手が不足しているという新聞記事が目立つようになってきました。しかしながら、就職しやすくなってきたからといって、学生の就業力育成の必要性は変わっていません。人口減少が本格化し、超高齢化の進む中で、一人ひとりの個人が充実感をもって働き、日本が住みやすい国に転換するために、社会が大きく変化していくことになるでしょう。私たちの教育している学生が、その重要な担い手だと思えます。

人材の育成と技術の開発によって、持続可能な社会を実現すると言われていますが、ビジネス実務教育や就業力の育成はその鍵を握っていると考えています。札幌国際大学を会場として開催した今回の全国大会は、その契機となる大会でした。六花亭製菓株式会社の小田豊社長のユニーク

な経営哲学や実践事例の講演、幅広い分野の研究発表、学会のこれまでとこれからを考えるシンポジウム、ブロック研究会からの事例報告など、テーマにふさわしい研究会でした。

総会では、コンプライアンス体制や持続可能な運営体制への整備を目的に、学会会則の改訂を提案し、承認していただきました。同時に、規程を整え、会長が替わっても、学会事務局が円滑に運営を引き継ぐことができる体制をつくってきました。2013年の夏の理事会の議論をもとに、研究領域の一部も見直しました。さらに、倫理綱領とプライバシーポリシーの新設と論集規程の見直しを提案して、ブロック研究会等での1年間の議論を経て、2015年6月の全国大会で正式にリリースする計画を承認していただきました。

2014年度は、私が会長として務める最後の1年です。本格的に変動の時期を迎えるビジネス実務の現場を直視し、そこで働く一人ひとりのビジネス実務に貢献できる学会でありたいと思います。そのためには、継続的な研究を蓄積することが肝要です。それを可能にする基盤づくりの1年にしていくつもりです。

Contents

会長あいさつ	1
大会プログラム	2
基調講演「中小企業の生き残り方は、あらゆる人の個性を生かすこと」	3
シンポジウム「ビジネス実務教育の今後の方向性について」	4
研究発表	6
JAUCB受託助成研究「学生の学びを深める学習法の研究—サービス実務における学習法—」	10
実行委員長 あいさつ・報告・概要	11
就業力育成の実践事例報告	12
2014年度総会報告	14
2013年度決算報告、2014年度予算	15
事務局からのお知らせ・新入会員紹介・第34回全国大会のご案内	16